

第236号 北海道勤労者スキー協議会 オフピステクラブ会長 山本宏幸

26年2月11日 連絡先 札幌市白石区平和通3丁目北3-13 Tel/Fax 011-784-3272

音江山は裏切らない！

31日は音江山（スキーフェスティバル）でした。8時30分。深川インター出口で、他メンバーと合流、一路登山口へ。昨年は車が一杯でしたが、今年は1台だけ。駐車スペースを確保し、9時20分登山開始。

雪がチラチラ降っているものの、風もなく寒くない。前の登山者のトレースを使わせて貰い、積もった雪の下が締まっているせいか登りやすい。

約2・40分で640m地点に到着。風も弱いので「山頂を目指そう」とし、12時30分標高796mの山頂へ全員めでたく登頂。

残念ながら眺望はなかったものの、カナダから来た人に写真を撮ってもらい下山へ。カナダ人は「ジャパンパウダーを滑りに来た。」とのこと。



これからの予定

- 2月20～22日 前十勝
- 3月1日 クラブ対抗競技会
- 3月8日 稲穂峰 石塚氏まで
- 3月22日 ニセコワイス 上口氏まで



下山は、極上パウダー。ヤッパリ音江山は裏切らない。オープンバーンを目指したが、数百メートル下り過ぎてしまいちょっと残念。でもどの斜面も極上パウダーに変わりはしない。

華麗なシュプールを描く者、雪にまみれてパウダーを楽しむ者？ それぞれに音江山を楽しみ、2時15分頃全員無事下山。

また再会したいと思いで、音江山パウダーを後にしました。今回の参加者の10名の皆さん、お疲れ様でした。

純白の「ユークナスの丘」がお出迎え！

2月8日はシヤクナゲ岳。電車も間引きするとの良くない予報の中出発するも、何と稲穂峠を越える」とピーカン。意気揚々と9時45分登山開始

登るに連れて雲が少しずつ多くなって来たが、標高850m付近からは、「純白のユークナスの丘」がお出迎えてくれて大満足。

そこから急斜面を登り、標高960m地点に到着。そこで会ったメンバーは何とあの「オレンジのペナント」を着けているではありませんか！

話すとは福島県から来たスキー協メンバー。美味しいバーンを荒したとの事だったが福島から来たのなら許す！

荒らされてた？バーンも難なく滑り下り、登り返しでシールのトラブルもあったが、無事14時40分下山。

板を新調したIさん、昨年は途中リタイヤだったが、今回は一緒に最高地点まで！

ヤッパリ新調した板の効果大かも？ 今回の参加者は8名、お疲れ様でした。

